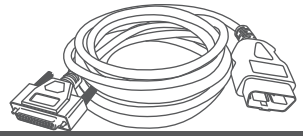
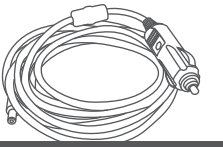
TPM2000

重要

ご使用前に必ずお読み下さい。出荷時に診断ソフトはインストールされていません。登録とアップデートを行ってから、診断を行ってください。

⚠ 注意

・メインメニューで「診断」アイコンが表示されない場合は、TPM2000 に診断ソフトがインストールされていない状態です。
本書を参考にユーザー登録とアップデートを行って、最新の状態で診断を行ってください。（図 1）
・診断やアップデートする際は SD カードの LOCK スイッチを解除してご使用ください。（図 2）
・TPM2000 アップデートプログラムは Windows XP 以降でご使用ください。
・XP 以前の OS では対応しておりません。

（図 1）

この状態が LOCK 解除状態です。

（図 2）

TPM2000 パッキングリスト

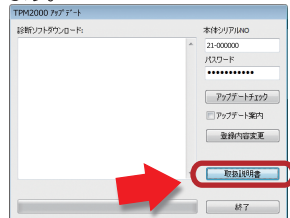
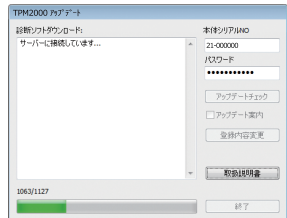
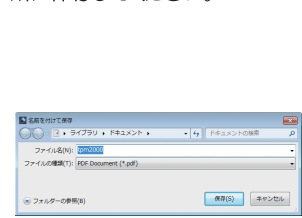
この製品には以下の内容が含まれています。

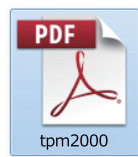
TPM2000 本体	OBD-II ケーブル	シガーライターケーブル	キャリングケース
SD カード	SD カードリーダ	クイックマニュアル	

⚠ 注意　パッキングリスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

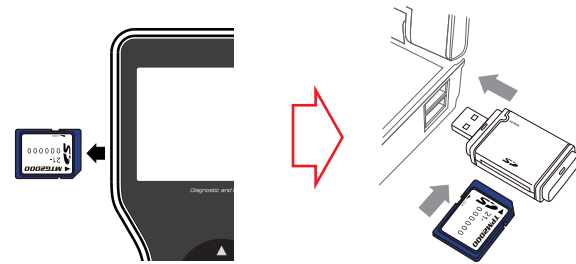
取扱説明書のダウンロード

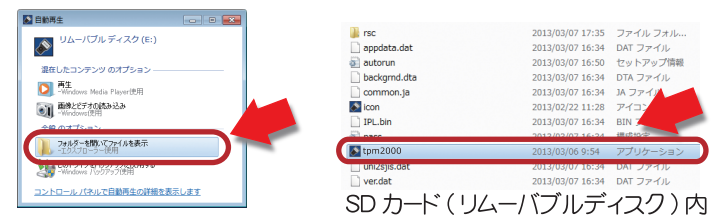
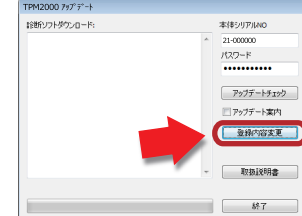
取扱説明書は PDF ファイルでダウンロードして閲覧するようになっております。

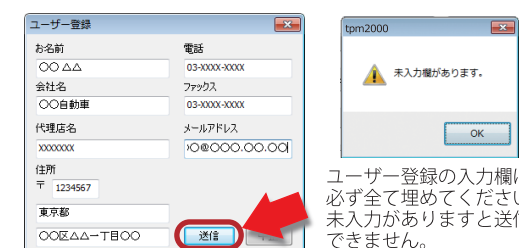
Step1
「TP2000ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」が起動した状態で、[取扱説明書]をクリックします。

Step2
取扱説明書のダウンロードが開始されます。

Step3
ダウンロードが完了すると、保存先を聞いてきますので、任意の場所に保存してください。

Step4
保存した場所に先ほどダウンロードしたファイルがありますので、ダブルクリック (又は右クリック - 開く) で表示させます。

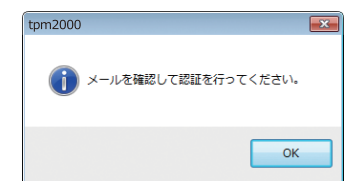
PDF
tpm2000

⚠ 注意
・取扱説明書を保存できない場合は、保存場所を変えて保存してください。
・うまく表示出来ない場合は、Adobe(R) READER(R) 最新のバージョンにしてご覧下さい。

ユーザー登録

Step1
TPM2000 本体より SD カードを抜き取ります。
取り外した SD カードを付属のカードリーダーでパソコンに接続します。

Step2
パソコンが SD カードを認識すると自動再生メニューが表示されます。ここで「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックします。また、自動再生がこのように表示されない場合は、手動にて、[マイコンピュータ]-[リムーバブルディスク] で表示させ、SD カード内にある「tpm2000.exe」(アプリケーション) を実行してください。

SD カード（リムーバブルディスク）内

Step3
「TPM2000ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」が起動しましすので、[登録内容変更] ボタンをクリックします。

※「再試行して下さい」などのエラーが表示された場合は[アップデートチェック] をクリックしてください。

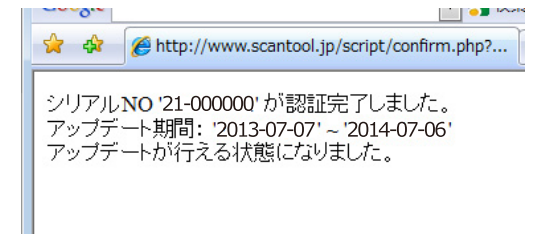
Step4
「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力し、[送信] ボタンをクリックします。

ユーザー登録の入力欄は必ず全て埋めてください。未入力がありますと送信できません。

Step5
ユーザー登録が送信されますと、下のメッセージが表示されます。この後、入力したメールアドレスのメールを確認します。

Step6
メールを確認してください。「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。メールを開いて、内容にあるリンクをクリックしてください。

登録認証確認

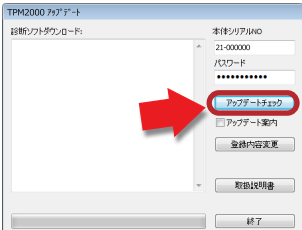
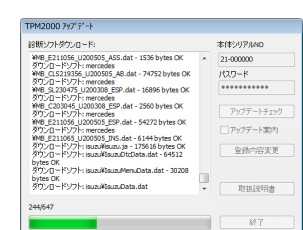
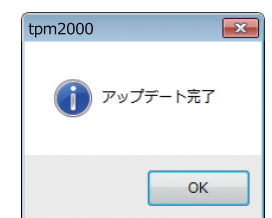
下記リンクをクリックすると認証が完了します。

http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey=33

Step7
メールのリンクをクリックすると、ご使用のブラウザで認証完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。
（アップデート期間は登録日より 1 年間です。）

⚠ 注意
・SD カードには LOCK スイッチがついています。必ず LOCK を解除して作業を行ってください。
セキュリティーソフトによっては「tpm2000.exe」ファイルを隔離や通信をブロックする場合があります。その場合はセキュリティーソフトの設定を変更していただく必要があります。
・メールが届かない場合はメールアドレスの間違いや「迷惑メールフォルダ」などを確認してください。
アップデート期間が表示されない場合は「登録受付メール」をもう一度確認してください。ユーザー登録で送信した回数分「登録受付メール」が配信されますので、最新の「登録受付メール」のリンクをクリックして下さい。

アップデート

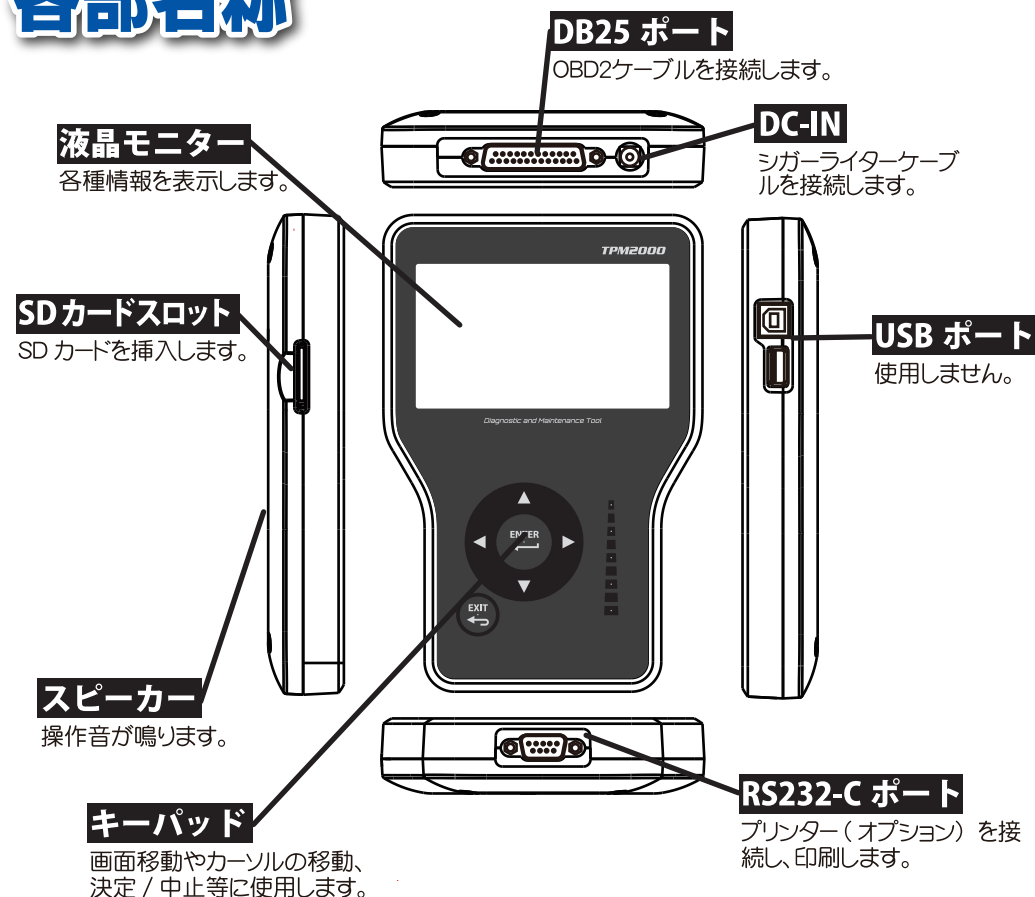
SD カードの接続は「ユーザー登録」の [Step1],[Step2] を参考にしてください。

Step1
「TPM2000ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」の［ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄﾁｪｯｸ］ボタンをクリックします。

Step2
アップデートサーバーに接続して最新のソフトをダウンロードして SD カードに書き込みます。

Step3
「アップデート完了」メッセージが表示されましたら、アップデートが完了したことになります。接続を解除して車両の診断を行って下さい。

⚠ 注意　アップデート用ソフトがダウンロード開始して「書込みできません」のエラーが表示された場合は SD カードの「Lock」スイッチを確認してください。

TPM2000
クイックスタートガイド

各部名称

画面説明

全自己診断結果画面

タイトル
現在のシステムやメッセージが表示されます。

選択カーソル
項目を選択すると文字が反転します。

故障コード数
故障コードの数が表示されます。

ページカーソル
診断項目が多い場合に表示されます。上下移動でスクロールします。

診断結果
エンジン - 2 DTC
ABS/VSC - OK
エアバッグ - OK
HV - OK
D席モータ - OK
P席モータ - OK
RR席モータ - OK
RL席モータ - OK
ENTER：選択　EXIT：戻る

故障コード表示画面

ページ数
複数のページになる場合ここにページ数が表示されます。上下キーでページを送れます。

故障コード
故障コードが P,B,C,U の頭文字と 4 桁の数字で表示されます。

故障コード内容
故障コードに対しての内容を表示します。

データ保存・印刷
SD カード内に保存する際は「データ保存」、専用プリンターにて印刷する際は「印刷」を選びます。

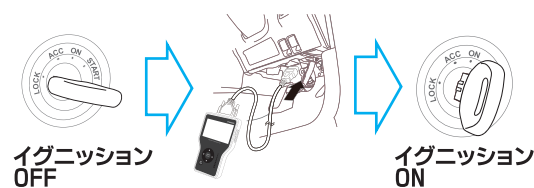
現在故障 (1/2)
P0006
遮断弁系統(High)
データ保存　印刷

診断方法

診断時は基本的にイグニッションキーを "ON" の状態で診断を行ってください。

診断を行う場合は以下の手順で操作してください。

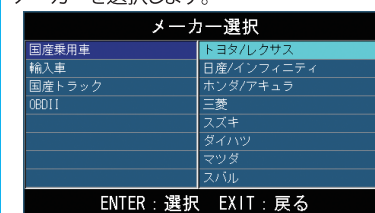
Step1

車輌のイグニッションが" OFF" である事を確認します。TPM2000を診断コネクタに接続し、イグニッションを" ON" にします。

Step2

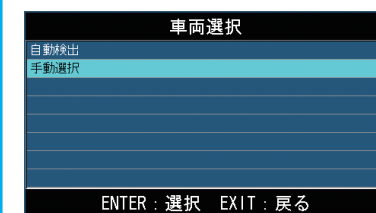
TPM2000に電源が入りメインメニューが表示されます。[診断]を選択して[ENTER]キーをタッチします。

Step3

メーカー選択画面では国産、輸入車、国産トラック、OBDIIいずれかを選択すると右側にメーカー名が表示されますので、診断するメーカーを選択します。

メーカー選択
国産乗用車 / 輸入車 / 国産トラック / OBDII
トヨタ/レクサス / 日産/インフィニティ / ホンダ/アキュラ / 三菱 / スズキ / ダイハツ / マツダ / スバル
ENTER：選択　EXIT：戻る

Step4

[車種選択]画面では「自動選択」または「手動選択」を選択して[ENTER]をタッチします。

車両選択
自動検出
手動選択
ENTER：選択　EXIT：戻る

Step5

[車種選択]画面では診断する車種を選択して[ENTER]をタッチします。この後、「ブランド」-「車名」-「車型」-「エンジン」-「装備選択」を選択します。

Step6

「メインメニュー」が表示されますので、作業する項目を選択して[ENTER]をタッチします。

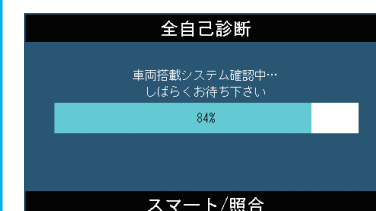
Step7

診断する項目を選択して[ENTER]をタッチします。ここでは「全自己診断」を選択しています。

システム選択
エンジン
ABS/VSC
エアバッグ
全自己診断
ENTER：選択　EXIT：戻る

Step8

「全自己診断」は車輌に搭載されている全てのシステムを調べていきます。

全自己診断
車両搭載システム確認中…
しばらくお待ち下さい
84%
スタート/照合

注意　診断がうまくいかない場合はコネクターの接続やイグニッションスイッチが ON であるか確認してください。

診断結果の表示・印刷・保存・消去

故障コードの消去はイグニッション "ON" で行ってください。（エンジンが掛かっている状態では故障コードが消去できない場合がございます。）

車輌の診断を行い、結果が表示された後は以下のようになります。

診断結果

診断結果は車輌に記録された故障コードの有無が表示されます。一覧で表示された後、選択して [Enter] キーをタッチする事で、一つずつ故障コードを表示することができます。

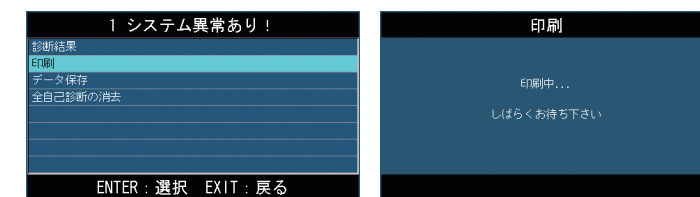
1 システム異常あり！
診断結果
印刷
データ保存
全自己診断の消去
ENTER：選択　EXIT：戻る

診断結果
エンジン - 2 DTC
ABS/VSC - OK
エアバッグ - OK
HV - OK
D席モータ - OK
P席モータ - OK
RR席モータ - OK
RL席モータ - OK
ENTER：選択　EXIT：戻る

現在故障 (1/2)
P0006
遮断弁系統(High)
データ保存　印刷

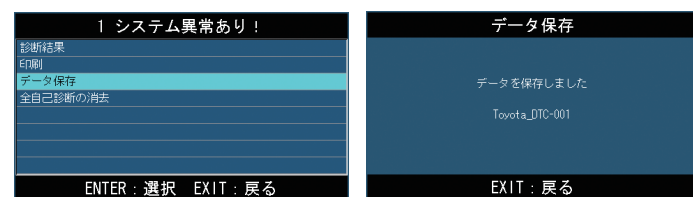
印刷

診断結果を印刷する場合は [印刷] にカーソルを合わせて [Enter] キーをタッチします。
※[Enter] キーをタッチする前にプリンターを接続し、電源を入れておいてください。

1 システム異常あり！
診断結果
印刷
データ保存
全自己診断の消去
ENTER：選択　EXIT：戻る

データ保存

診断結果を保存したい場合はカーソルを [データ保存] に合わせて [Enter] キーをタッチします。表示が変わり、「データを保存しました」のメッセージが表示されると、画面中央 (例Toyota_DTC-001) という名前で SD カードに保存します。

1 システム異常あり！
診断結果
印刷
データ保存
全自己診断の消去
ENTER：選択　EXIT：戻る

データ保存
データを保存しました
Toyota_DTC-001
EXIT：戻る

全自己診断の消去

自己診断の消去を行う場合は [全自己診断の消去] にカーソルを合わせて [Enter] キーをタッチします。TPM2000 が各ユニットの故障コードを消去していきます。消去が完了すると、一度全自己診断を行い、故障コードが消去されたことがわかります。
※故障コードの消去を実行しても故障が発生している場合は故障コードが表示されます。再度適切な修理後に消去を行って下さい。

1 システム異常あり！
診断結果
印刷
データ保存
全自己診断の消去
ENTER：選択　EXIT：戻る

全自己診断の消去
全自己診断の消去
ENTER：実行　EXIT：中止

診断結果
エンジン - OK
ABS/VSC - OK
エアバッグ - OK
HV - OK
D席モータ - OK
P席モータ - OK
RR席モータ - OK
RL席モータ - OK
ENTER：選択　EXIT：戻る

注意　診断を終了する場合は、「メーカー選択」画面までもどり、イグニッションスイッチを OFF にして TPM2000 を接続解除して下さい。